

SDGsの達成に貢献し、
新たな未来社会に向け変革していく期間



高速道路リニューアルプロジェクト(東北道)



安全対策の取組み



商業施設のリニューアル(東北道 国見SA(下り線) 2020年9月改築)



取締役兼常務執行役員
経営企画本部長

小林 靖

NEXCO東日本グループは、2021年度から2025年度までの5年間で「SDGsの達成に貢献し、新たな未来社会に向け変革していく期間」と位置づけた『中期経営計画(2021年度～2025年度)』を策定しました。

本計画では、「安全・安心で自動運転等のイノベーションにも対応した快適な高速道路の実現」、「老朽化や災害に対する高速道路インフラの信頼性の飛躍的向上」、「高速道路の整備・強化と4車線化の推進によるネットワーク機能の充実」、「多様なお客さまニーズを踏まえた使いやすさの追求」「ポストコロナ時代におけるグループ全体の経営力の強化」および「新たな日常に対応した誰もが生き生きと働けるワークスタイルの実現」といった6つの基本方針のもと、主要重点計画を策定し、着実に実行してまいります。

2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すというSDGsの達成に貢献できるよう、グループ経営ビジョンで掲げた「つなぐ」価値を創造し、あらゆるステークホルダーに貢献する企業グループとして成長することを目指し、NEXCO東日本グループ一体となって取り組んでまいります。

6つの基本方針

| 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
|---|--------|--------|--------|--------|
| 基本方針1 安全・安心で自動運転等のイノベーションにも対応した 快適な高速道路の実現 | | | | |
| 基本方針2 老朽化や災害に対する高速道路インフラの信頼性の飛躍的向上 | | | | |
| 基本方針3 高速道路の整備・強化と4車線化の推進によるネットワーク機能の充実 | | | | |
| 基本方針4 多様なお客さまニーズを踏まえた使いやすさの追求 | | | | |
| 基本方針5 ポストコロナ時代におけるグループ全体の経営力の強化 | | | | |
| 基本方針6 新たな日常に対応した誰もが生き生きと働けるワークスタイルの実現 | | | | |

| 2030年度 |
|--------|
| |
| |
| |
| |
| |
| |

KPI (Key Performance Indicators/主要業績指標)

| 番号 | 主要業績指標 (KPI) | 2021年度 | 2025年度 | 備考 |
|----|--------------|----------|----------|--------------|
| 1 | 総合顧客満足度 | 3.7ポイント | 3.8ポイント | 総合CS (満点5点) |
| 2 | 本線渋滞損失時間 | 841万台・時間 | 770万台・時間 | 暦年値 |
| 3 | 快適走行路面率 | 95% | 95% | |
| 4 | 売上高営業利益率 | -4.6% | 5.8% | SA・PA事業 (連結) |
| 5 | 年間総実労働時間 | 1,970時間 | 1,950時間 | |

6つの基本方針と重点計画

基本方針1

安全・安心で 自動運転等のイノベーションにも対応した 快適な高速道路の実現

- 事故対策による安全性の向上、渋滞対策等による定時性の確保を推進します。
- 自動運転、トラック隊列走行等のイノベーションに対応した道路空間を整備します。
- 管理の高度化・効率化を図り、快適な高速道路の実現に向けて取り組みます。



基本方針3

高速道路の整備・強化と4車線化の推進による ネットワーク機能の充実

- 持続可能な社会のため高速道路ネットワークの安全・安心・着実な整備・強化を実施します。
- 新たなICT技術の積極的な活用等により、生産性、インフラLCC(ライフサイクルコスト)を考慮した事業を推進します。



基本方針5

ポストコロナ時代における グループ全体の経営力の強化

- グループ全体の企業価値向上に取り組みます。
- 展開している収益事業の強化と新たな収益事業の推進に取り組みます。
- 企業・事業活動を通じて環境保全等に取り組みます。



基本方針2

老朽化や災害に対する 高速道路インフラの信頼性の飛躍的向上

- SMHの更なる進化による維持管理業務の高度化・効率化を図り、適切な老朽化対策を実施します。
- 激甚化・頻発化する災害に対応した強靱な高速道路を構築します。
- 高速道路インフラの信頼性の向上を支える新たな取り組みを推進します。



基本方針4

多様なお客さまニーズを踏まえた 使いやすさの追求

- 多様なお客さまが使いやすく、快適・便利を感じることができるサービスを展開します。
- 地域社会の活性化や観光振興につながる事業活動を推進します。



基本方針6

新たな日常に対応した 誰もが生き生きと働けるワークスタイルの実現

- 一層のデジタル化の推進により、新たな日常に向けた業務基盤を確立し、業務の効率化を図ります。
- グループ社員がやりがいを持ち、安心して健康的に働ける職場環境を整備し、生産性の向上を推進します。



財務計画

高速道路事業

【損益計画】

高速道路機構との協定に基づき、お客さまからいただく料金収入から、高速道路機構が保有する債務の返済に充てる賃借料の支払いおよび必要な高速道路管理を着実にを行います。

【投資計画】

機構資産^{※1}については高速道路機構との協定に基づき、外環道(大泉JCT～中央JCT)、横浜環状南線(釜利谷JCT～戸塚)、常磐道4車線化事業などの新設・改築事業および高速道路リニューアルプロジェクトなどの修繕事業で約2兆5,000億円の投資を計画しています。

会社資産については、料金収受機械、ETC設備の整備、老朽化更新などで約2,500億円の投資を計画しています。

※1 機構資産とは、完成後に高速道路機構へ引き渡すこととしている道路資産のこと

2021年度
～2025年度累計



料金収入 約3兆6,000億円

賃借料 約2兆6,000億円

管理費など 約1兆円

2021年度
～2025年度累計



機構資産^{※1} 約2兆5,000億円

会社資産 約2,500億円

関連事業

【損益計画】

経営資源の最適な活用により、お客さまサービスと企業価値を向上させるとともにさらなる効率化により収益力を強化し、最終年度(2025年度)の営業利益は約21億円を目標にします。

【投資計画】

商業施設の新設・増改築・老朽化更新などの関連事業資産およびシステムのリプレースなどの事業共用資産に約550億円の投資を計画しています。

2025年度計画



営業利益(連結) 約21億円

2021年度
～2025年度累計



会社資産 約550億円

※民営化と高速道路事業のスキームの概要はP6を参照ください。

「中期経営計画の概要」の詳細はこちら https://www.e-nexco.co.jp/company/strategy/mid_term/

